



# 豊玉二中だより

令和5年度 第8号  
発行日 12月4日(月)  
練馬区立豊玉第二中学校  
校長 神山 信次郎

## 表現の幅を広げる

副校長 新井 智子

「やばい。このケーキ。」

このように言われたらどのように解釈をしますか？

「おいしい。このケーキ。」という肯定系の意味で捉える。それとも

「おいしくない。このケーキ。」という否定形の意味で捉えますか？

「やばい」は本来、危険などを伝える意味で使われていました。三省堂国語辞典（デジタル版）には、「①あぶない。②まずい。だめ。」と記載されています。そして、1980年代から③番目に「すばらしい。夢中になりそうで危ない。」と、肯定的な意味が続きます。その後2001年からは④番目の意味として「程度が大きい」という意味が広まったそうです。

「小学生から身に着きたい一生役立つ語彙力の育て方」（国立国語研究所 石黒 圭・柏野和佳子 著 KADOKAWA）には、「やばいをなるべく使わないようにすることで、表現力を高める方法を考えてみよう。」とあります。

では、例文を言い換えてみましょう。

- ・締め切りに間に合わないとやばい。→締め切りに間に合わなかったら絶対絶命だ。
- ・それはやばい状況ですね。→それは切迫した状況ですね。
- ・やばい事実を隠蔽する。→不都合な事実を隠蔽する。
- ・さすがにこれはやばいです。→さすがにこれは緊急事態です。

ここまでは否定的なマイナスな意味合いの言い換えでした。肯定的なプラスの言い換えはどうでしょう。

- ・やばい景色に癒されました。→風光明媚な景色に癒されました。
- ・やばい職人技で作られた食器→巧みな職人技で作られた食器
- ・新作の映画はやばい。→新作の映画は傑作だった。
- ・やばい回答でした。→秀逸な回答でした。

どうですか？自分だったらやばいをどのように言い換えるでしょう。日本にはたくさんの言葉がありますから、他にももっと言い換えた言葉があります。語彙力を増やして適切に言い換えることを意識して、表現の幅を広げていきましょう。